



第4回震災復興会議・ 第10回震災復興市民委員会が 開催されました

■問い合わせ先

市企画政策課
tel 02226(22) 3408

第4回気仙沼市 震災復興会議

8月27日、気仙沼市震災復興会議が、ワン・テン庁舎で開催されました。

はじめに、気仙沼市震災復興市民委員会専門家や市民の皆さんの意見を踏まえて、



震災復興会議では「気仙沼市震災復興計画」(素案)について議論しました(8月27日ワン・テン庁舎)

まとめた「震災復旧・復興に向けた提言(骨子)」の概要説明がありました。この提言は、被災したまちを、どのように復興していくべきかを、市民委員会として整理したものです。

次に、市から(仮称)「気仙沼市震災復興計画」の素案を示しました。この素案は、これまで3回の震災復興会議での議論、9回にわたる震災復興市民委員会での議論、市議会、唐桑と本吉の両地域協議会からの意見書、さらには市民の皆さんや産業界などからのご意見、宮城県の復興計画(案)や国の復興基本方針を踏まえ、市として職員によるチームを中心に議論し取りまとめたものです。

委員からは「気仙沼らしさが伝わるような書き方にしてほしい」などの意見がありました。

第10回市震災復興 市民委員会

9月3日、気仙沼市震災復興市民委員会が、ワン・テン庁舎で開催されました。

会議では、市民委員会の提言として「震災復旧・復興に向けた提言」(案)が示されるとともに、重点的に取り組むべきプロジェクトとして「緊急産業復旧プロジェクト」などの提案があり、次回に内容をさらに検討することとしました。

今後は、提言やプロジェクトを取りまとめ、震災復興会議に提案する予定としています。



市民委員会の提言として「震災復旧・復興に向けた提言」(案)が示されました(9月3日ワン・テン庁舎)

本吉地域 自治区長 千田氏が退任 高橋新自治区長が就任



■千田自治区長が 任期を全うして退任

気仙沼市本吉地域自治区長の千田孝昭氏(64歳)が、8月31日に、2年の任期を全うし退任されました。

千田氏は、平成21年9月1日に初代本吉地域自治区長に就任され、これまで市民の一体感の醸成、新市の円滑な行政運営に努められ、新市基本計画の着実な推進を図り、本吉地域の振興発展に寄与されました。

また、震災以降は、迅速・的確な避難者などの実態把握に努められ、常に自ら陣頭指揮を

執り、被災者の支援や、復旧・復興に尽力されてきました。退任される日には、地域のための職員の奮闘を期待しつつ、労をねぎらっていました。

■本吉地域の復旧・復興に全力 高橋自治区長が就任



9月1日、新たに、高橋博明自治区長(61歳)が就任しました。任期は平成25年8月31日までの2年間です。

高橋自治区長は、昭和43年本吉町役場に入り、以来、町民生活課長、町民税務課長、総務課長兼選挙管理委員会事務局長などを歴任しました。平成21年9月1日の合併後は、本吉総合支所次長として市政の推進に努め、翌平成22年3月に定年退職。同年4月から、株式会社本吉町産業振興公社総務部長を務めています。

就任した日の挨拶では「職員の協力のもと、震災からの復旧・復興に向けて、2年間全力で取り組んでいきたい」と抱負を語っていました。